

むささび

第15号

平成24年1月10日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



ヒメシジミ (オス: 青紫色、メス: 茶褐色) 環境省レッドデータブック準絶滅危惧 撮影場所: 北信州管内山林

特集

公益信託 農林中金80周年森林再生基金

『FRONT80』助成対象事業

2~10ページ

トピックス

森林経営計画について

伐採届と再造林について



主な内容

新春ごあいさつ	2
FRONT80の概要	3
事業団地の紹介	4
境界明確化工程	5
境界明確化成果	6~8
資源量調査	9~10
トピックス	11
お知らせ	12

年頭のごあいさつ



北信州森林組合

代表理事組合長 高森 壽實夫



新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、ご健勝のうちに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃より森林組合の事業推進に格段のご支援、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、3月11日に東北地方を中心に甚大な被害が発生した東日本大震災、そして12日に栄村を中心に発生した長野県北部地震により、当組合におきましても震災の影響が懸念されましたが、皆様方のご協力により無事に乗り切ることができました。

そのような中で、国政では補助事業の見直しや、T P P問題、材価の低迷等難題が多くありましたが、関係各位のご指導により、ある程度の見通しが出てきましたことに、御礼申し上げます。

新年度においては、80人を超える職員体制を順次整えるとともに、北信州の森林を緑豊かにするため、役職員一丸となって、組合事業の更なる展開に邁進してまいりたいと思っております。

しかしながら、森林・林業を取り巻く状況には、依然として厳しいものがあります。国においては、森林・林業再生プランにより9年後には、国内木材需給率50%以上を目途とすることや、林業における地球温暖化対策の推進、今後の森林組合の在り方等、新たな方向性が検討されているところですが、平成24年度の国、県の予算にどのように反映されてくるのか、不透明な部分も多く心配しているところです。

このような状況において、当組合では地域の森林からの恩恵を、より多くの組合員の皆様が受けられるよう、木材の生産コストの削減や、作業路等の路網の整備、森林施業の集団化等に一層の努力をしております。そして、組合員の皆様から安心して山を任せいただけるように頑張っておりまして参りたいと思っております。

また、野沢温泉村にあります物産センター「ねんりん」の運営につきましては、昨年には同村のご支援によりまして、トイレと直売所を配置した建物を新設していただきました。今後は、この建物の有効活用を図りながら、経営の向上に資して参りたいと思っております。

いずれにいたしましても、新年度も森林整備のための集約化や集団化には、予算が盛り込まれる計画ですので、森林境界の明確化や集団施業の基となる長期施業委託契約を更に推進して参ります。

そして、地域の森林整備を適切に進め、地域の発展に貢献していく所存です。

組合員の皆様方におかれましては、一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、年頭にあたってのご挨拶とさせていただきます。



公益信託 農林中金80周年森林再生基金
『FRONT80』助成対象事業

取組み中です!

概要

- 農林中金では、国内の荒廃した民有林の再生により、地球温暖化防止などの森林の多面的機能が持続的に発揮されることを目的として、平成17年3月創立80周年を機に10億円規模の「公益信託 農林中金80周年森林再生基金」(FRONT80)を設定し森林の再生と保護(保全)を通じた社会貢献事業の取組みを行っています。
- この取組みは、民有林を再生する事業・活動に対し1年当たり1億円程度の助成を行うもので、信託財産10億円を設定し10年にわたって実施するものです。
- これまでの5か年で22事業体に総額4億2100万円の助成が行われました。
- 6年度目となる今回は、森林組合・同連合会19件、NPO法人等5件、合計24件の応募がありました。
 その中から、公益性、創造性等の観点から審査をした結果、北信州森林組合を含めて6事業、合計1億1600万円の助成が決定されました。

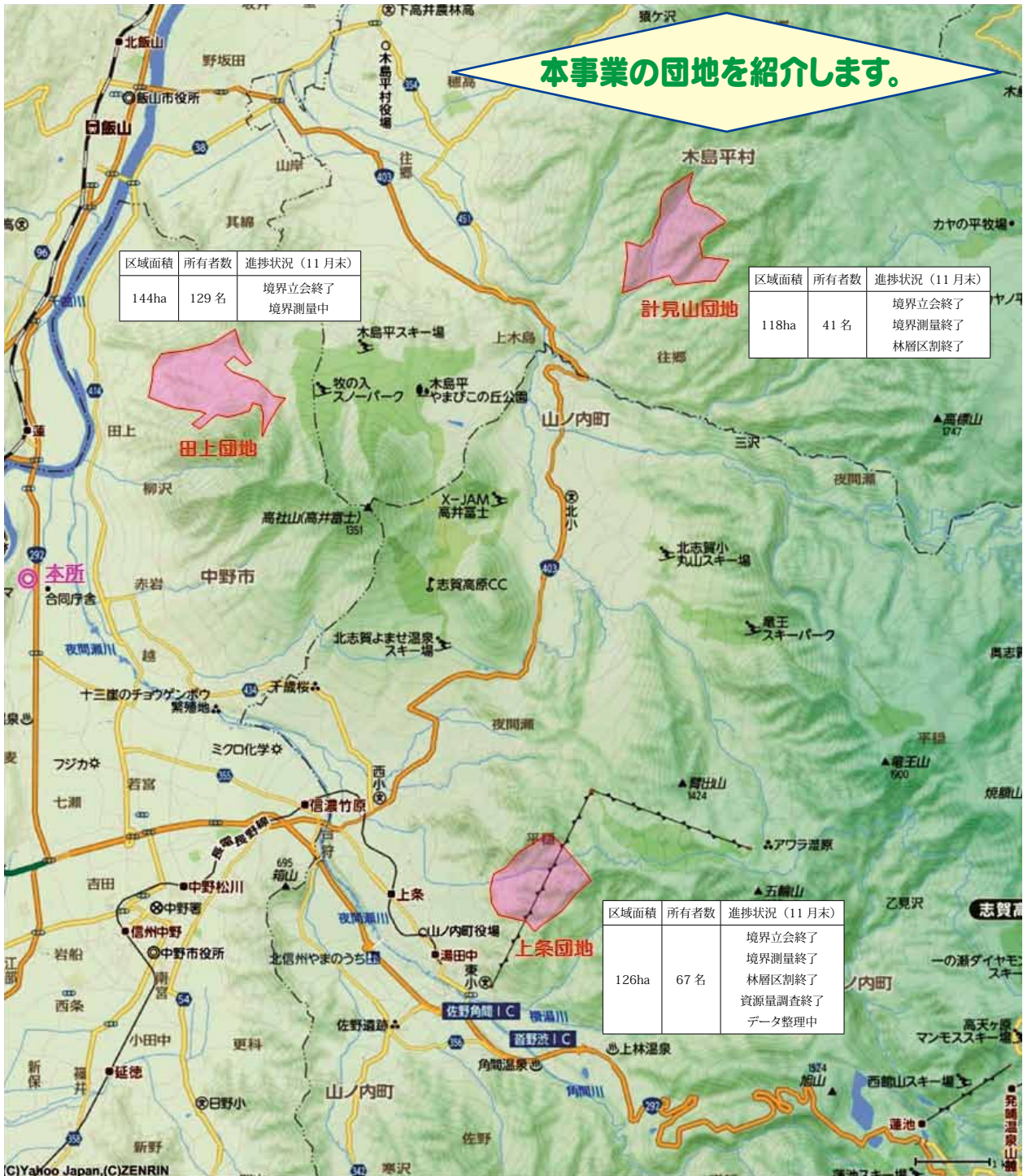
助成対象先	事業の概要と評価のポイント
北信州森林組合 (長野県) 対象地面積 388ha	<p>事業名: デジタル森林管理 ～森林経営の再生を目指して～</p> <p>当地域は、リポート開発・構想があったものの、その後の撤退により、整備が放棄された荒廃森林が多く存在し、また、境界不明の集落林も多く、交通の便の良さもあり、ごみの不法投棄等の新たな問題も発生している。</p> <p>当事業では、放棄された森林を、もう一度、地域の管理下に取り戻すため、境界明確化、資源量調査を実施し、そこで得られたデータをGISでデジタル管理し、森林整備(ハード)事業に結びつけることで、地域森林の持続的利用モデルの構築を目指すという取組みが評価された。</p>

(平成23年3月3日、農林中金プレスリリース抜粋)

○北信州森林組合の事業については、森林の境界調査及び資源量調査を行い、そのデータを森林GISの中でデジタル管理し、将来の森林整備に結び付け、地域森林の持続的利用モデルの構築を目指すことが先進的であるとして評価されました。

**今回の号では、この農林中金の助成事業について、
 組合員の皆様にご紹介いたします。**

本事業の団地を紹介します。



団地地内の状況



家庭ゴミの不法投棄



ロープウェイ跡地



集落跡地

皆さんに事業の説明
をしました。



(上条研修センター)



(田上公会堂)

境界の立会をしてい
ただきました。



(上条団地：境界立会・杭打ち)



(計見山団地：立会集合)

境界立会の後、測量
をしました。



(GPS基準点取得)



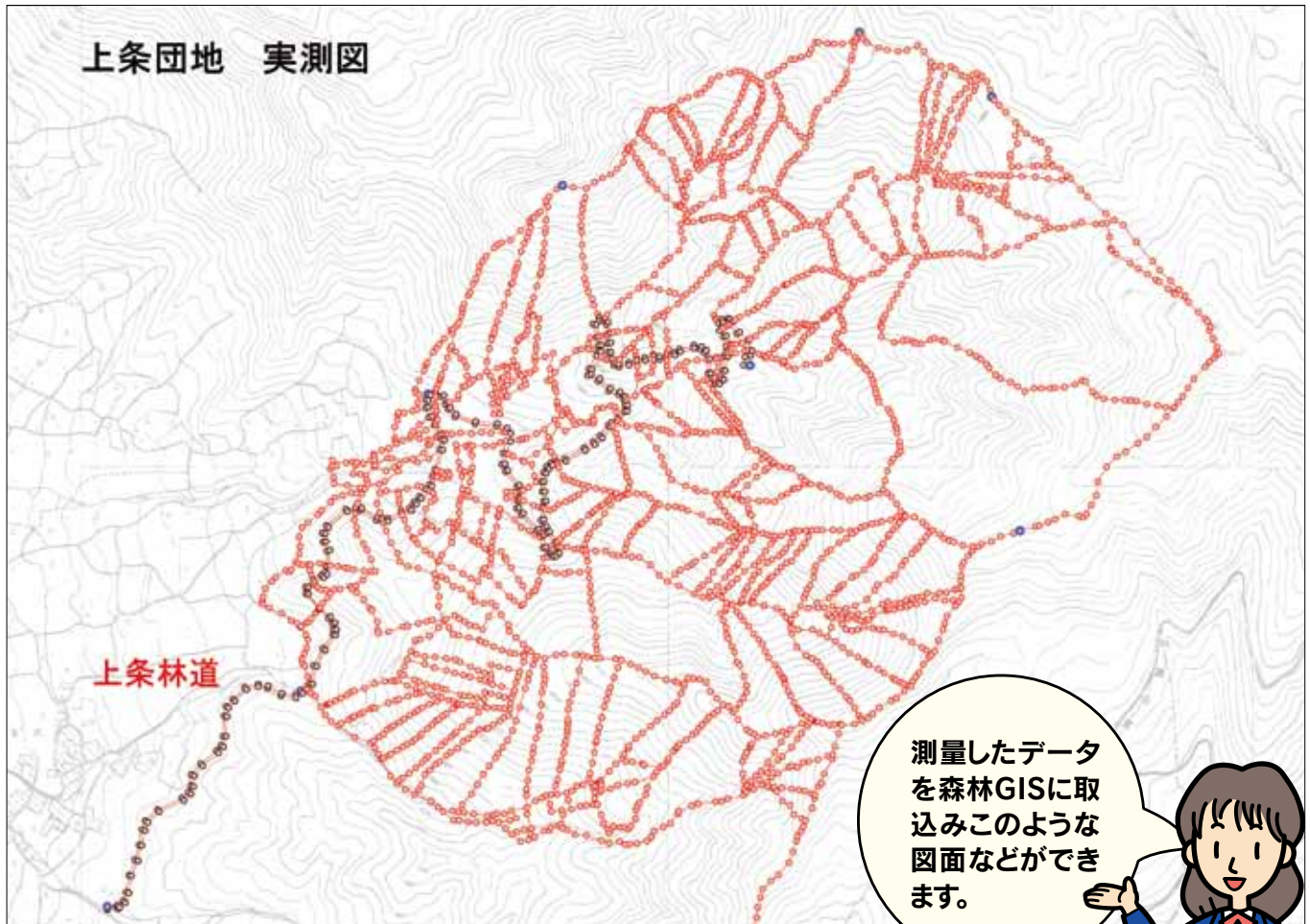
(デジタルコンパスによる路線測量)

デジタル機器での測量で、
座標値でデータを管理する
ことができます。

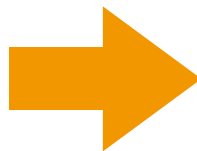
この事業で行って
いることを簡単に
説明します。



等高線と測量実測を重ねた図面です。(所有界と地形の判別ができます。)



所有者(画地)毎にGISデータを構築します。



測量区	測量日	測量区	測量区	測量区	測量区	測量区	測量区	測量区	測量区	測量区	測量区
21-400	21-401	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0
21-402	21-403	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0
21-404	21-405	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0	102.0
21-406	21-407	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0
21-408	21-409	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0
21-410	21-411	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
21-412	21-413	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
21-414	21-415	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0
21-416	21-417	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0
21-418	21-419	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0
21-420	21-421	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-422	21-423	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0
21-424	21-425	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-426	21-427	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0
21-428	21-429	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
21-430	21-431	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
21-432	21-433	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0
21-434	21-435	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-436	21-437	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0
21-438	21-439	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0
21-440	21-441	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-442	21-443	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0
21-444	21-445	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-446	21-447	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0
21-448	21-449	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
21-450	21-451	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
21-452	21-453	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0
21-454	21-455	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-456	21-457	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0	84.0
21-458	21-459	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
21-460	21-461	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0	119.0
21-462	21-463	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0

※所有界や樹種、座標、面積などの情報をGISの中で管理します。

空中写真の活用も行います。(所有界と空中写真上の林層とを照合します。)

[空中写真]

上条団地 実測図



森林GISには空中写真も入っています。このように空中写真上に図化することもできます。



空中写真

計見山団地

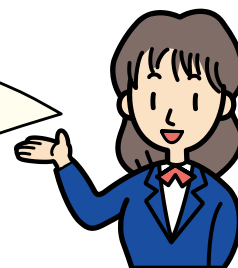
実測図





空中写真 田上団地
実測図

将来、境界杭がなくなっても GPS で座標を測定して復元することができます。



PDAとPCの間でデータを転送

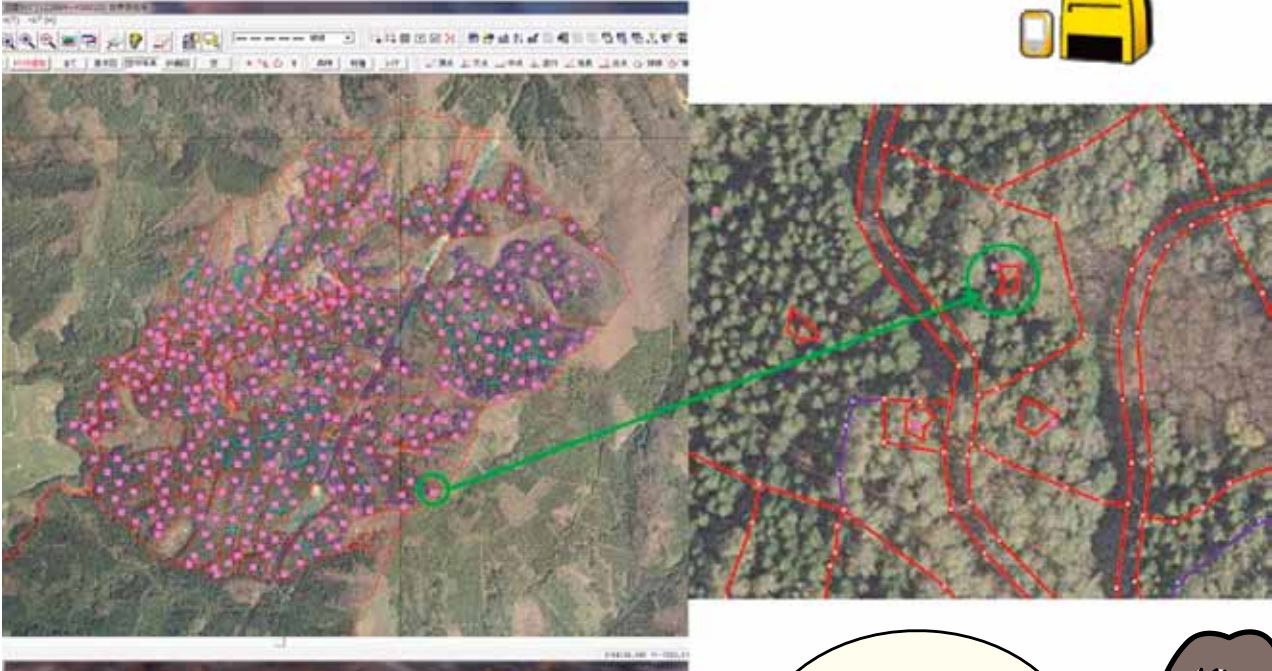


現在は4セット(右写真)所持しており、資源調査ではさらにPDA・デジタルコンパスを4セット使用して、このすべての機械が現在フル活動している状況です。





データの一元管理 (所有界と一致した資源調査)

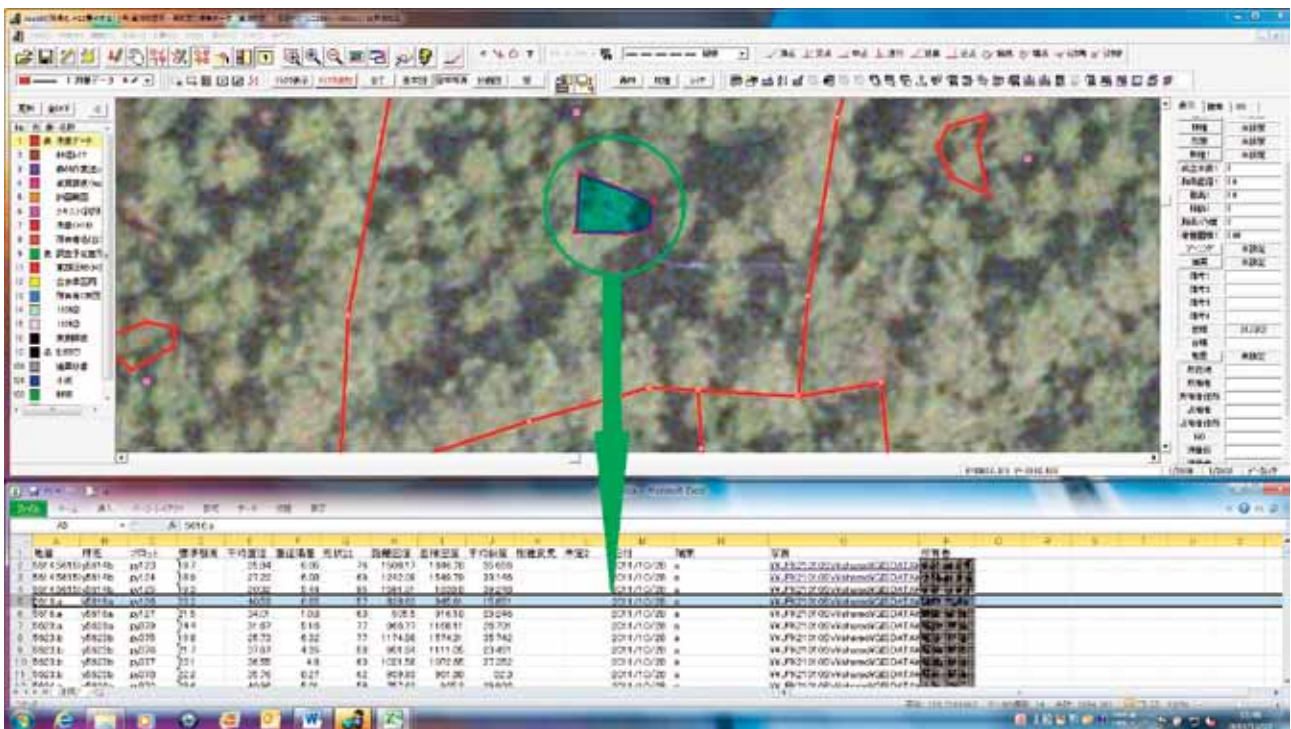


資源調査結果

本数密度・樹高・胸高直径などの調査を実施。



選択した図をクリックすると、下のエクセルも連動して表示します。



測量ソフトとエクセルファイルを連動し、GISデータの一元化に成功しました。



森林資源量調査の方法です。



GPS受信機、PDA(携帯端末) デジタルコンパス、反射材を使っています。



森林GISで決定した調査地の位置情報を、計画図上に示してPDAに転送します。
PDAを現場に持っていき、PDAの情報と現地の林層等から判断して、調査地を最終決定し、現地調査を行います。



デジタルコンパスを用いて、幹距法によるプロット測定を行います。中心木に反射材を巻いて、逆向きの放射測量を行います。



周囲6本の木と中心木との方位、距離を測定します。そのほか樹高、胸高径を測定します。



本事業では、PDAの代用として、スマートフォンを導入しました。
GISソフトを入れて使用しています。
GPSをつないで林内でも高精度の位置情報を確認できます。
これにより効率良く山林所有界の推測調査ができました。
また、担当者間で位置情報をメールで送信できます。
もちろん電話としても利用できます。
集約化業務で、たいへん活躍しています。

『小型GPS(右写真)』
ヘルメットの中にも装着できます。(約30g)



補助金の制度が大きく変わりました!

トピックス



個々の森林施業に対して網羅的に助成していました。

面的なまとまりをもって持続的な森林経営を実施する者に(経営計画の作成者)対して助成します。

【補助対象者】

- ・ 森林施業計画の認定を受けた者
- ・ 市長村長と協定を締結した者
- ・ 特定間伐等促進計画の実施主体
- ・ 公的森林整備の実施主体

【補助対象者】

- ・ 森林施業計画の認定を受けた者 (H24まで)
- ・ 集約化実施計画の実施主体 (H24まで)
- ・ 特定間伐等促進計画の実施主体 (H24まで)
- ・ 森林経営計画策定者

- これまでは、森林組合が管内市町村の特定間伐等促進計画の実施主体でしたので、森林組合と委託契約をすることで、0.1ha以上の面積があれば補助が受けられました。
- 今後は5カ年の森林経営計画を策定しなければ補助の対象となりません。
- 個人では100ha以上の所有者以外は、単独ではできません。
- このようなことから、森林組合が皆様と5カ年の森林経営委託契約を締結して、経営計画を策定することになります。
- 間伐については切り捨てだけの間伐は補助対象になりません。
- 間伐以外の施業についても経営計画の中で計画しなければ補助を受けられません。

- 〈属地的計画〉
面的なまとまりをもった30ha以上の森林で5年以上の経営計画を策定した者
- 〈属人的計画〉
100ha以上を所有する森林所有者について特例で認められた計画

※どの要件においても間伐の補助については、下記の2項目が必須になります。

- 実施面積5ha以上
- 搬出材積10m³/ha以上

森林法が改正されました。

- 森林で伐採(間伐も含む)を行う前には伐採届を市町村に提出しなければなりません。
- 人工林の伐採届には造林の方法等と時期を記載し、必ず森林所有者の記名押印が必要になります。
- 伐採後2年以内に造林を行わなければなりません。
- 造林をしない場合には市町村長から造林命令が出されます。
- 従わない場合には30万円以下の罰金が処せられることがあります。

伐採届についての罰則規定はありますが、これまで適用になった例はあまりありません。しかし、伐採届を出して伐採することが、合法木材の証明とされているため、造林されなかった場合には合法性が損なわれることとなります。それにより、その木材を使用することで補助金を受けた施設において、補助金返還等の措置が行われることも想像できます。そうした場合に、造林しなかった森林所有者に対して損害賠償請求が発生する可能性も考えられます。

伐採届と再造林について

お知らせ



森林境界明確化事業について

- 森林整備加速化・林業再生基金が平成27年度まで延長されることになりました。
- 基金事業の森林境界明確化について森林経営計画とセットで実施してまいります。
- 北信州森林組合では1団地100ha以上規模として進めています。
- 森林所有者との5年以上の委託契約の締結が必要になります。
- 森林境界明確化を希望される地区がありましたら地区として業務課にご相談ください。

立木売買について

- 組合員でも立木売買については素材生産業者に販売されることが多いようです。
- 高性能林業機械を保有している森林組合の生産コストは業者よりも低くなっています。
- 立木売買で素材生産業者に見積りをさせる際は森林組合にもご相談ください。
- 再造林についても制度説明をさせていただきます。
- 丸太販売の市場手数料も、契約販売での価格も、取扱い量の多い森林組合は有利です。

スギ間伐材コンポスト

スギ間伐材でコンポスト(生ゴミ処理容器)を製作しました。

本所の玄関で実演展示しています。

基材はJAで販売している「自然の恵み」を使用します。

1基の価格は**10,500円**(税込、基材別途)です。
市町村で購入費助成金制度があります。



人事異動

退職(六月三十日)	横澤とみ子
総務課会計担当	
十一月三日付	
業務課森林施業技術員	平田 昌美
十一月一日付	
総務課長・会計主任	田中 忠
業務課長代理	堀澤 正彦
総務係長	小出 幸子
採用(十一月一日付)	
総務課会計担当	丸山久美子
総務課会計担当	中沢千恵子

むささび第15号 編集・発行 北信州森林組合

本所・中野支所	〒383-0061 中野市大字壁田938番地1
	TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350
飯山支所	〒389-2255 飯山市大字静間383番地14
	TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111
山ノ内支所	〒381-0405 山ノ内町大字夜間瀬6819-1
	TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678
木島平支所	〒389-2302 木島平村大字往郷973-1
	TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123
野沢温泉支所	〒389-2592 野沢温泉村大字豊郷9817
	TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803
豊田事業所	〒389-2192 中野市大字豊津2508
	TEL 0269-38-3111 FAX 0269-38-2774
ねんりん	〒389-2613 野沢温泉村大字虫生2383-1
	TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441

編集後記

2012年、今年からいよいよ森林経営計画が始まります。国で法改正までして作った制度ですが、個々人では助成が受けられなくなってしまいました。皆さんの受け皿として森林組合は、ますます頑張っていかなければなりません。

また、そのための情報を広報誌「むささび」を通じて、お知らせしてまいります。

皆さんの重要な情報源として、紙面の充実を図ってまいります。